

ながはま 見聞録

Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介します。あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課(☎65-6504)までお知らせください。

5月18日(土)

曳山若衆会「緊急事態」にも対応

長浜曳山祭の山組の若衆で組織する「長浜曳山祭若衆会」が曳山博物館伝承スタジオで救命救急講習会を開きました。

今回で2回目となるこの講習会は、12の山組の若衆23人が参加。人工呼吸や心臓マッサージ、AEDの操作方法などを湖北地域消防本部の救急隊員3人から指導を受けました。

若衆会代表は「世界中から来るお客様に安全に祭りを見てほしい」と話しました。



5月19日(日)

人気の横山岳で待望の山開き

横山岳の山開式が麓の白谷山口で行われました。

今年で48回目となる山開き式では、地元の「杉野山の会」の会員ほか、市長や市議会議員関係者ら30人が登山客の安全を祈願しました。

同会の会長は「会にできることは小さなことだが、長く続けることが大事。みんなが楽しく登山できるようしっかり整備をしていきたい」と話しました。



5月25日(土)

校内に巨大な地上絵ができました

永原小学校のグラウンドで、児童と保護者が一緒に巨大な地上絵を作りました。このイベントは、新しい「令和」時代での永原小学校の繁栄と、参加者の思い出づくりの機会となればと開かれたものです。

この日は、全校児童98人とその保護者たちも参加して、550枚のパネルをグラウンドに並べ、地上絵が完成。上空からの記念撮影では、参加者たちはドローンに向かって笑顔で手を振りました。



5月26日(日)

富田人形とオペラの融合が観客を魅了

余呉町中之郷の余呉文化ホールで、富田人形とオペラが融合した「文楽オペラ」が行われました。

公演はオペラによるまちづくりを進めてきた余呉地域と、人形浄瑠璃「富田人形」(無形文化財)を継承してきたびわ地域との合同で行われました。

観客からは、「音楽と人形の細やかな動きが合っており、ストーリーもわかりやすかった」という声も聞かれ好評でした。

長浜市公式 SNS

- 長浜の催しや風景など、自慢の一枚をInstagramに投稿してください。長浜市公式Instagramアカウント「# みんなのちょぴつく」で紹介します。詳しくは市ホームページをご覧ください。
- 見聞録のイベントは市公式 Facebook ページでもさらに詳しくみることができます。



▲市ホームページ



▲ほっとにゆ〜す

6月1日(土)

地域づくりの新たな活動拠点

「虎姫まちづくりセンター竣工式・オープニングイベント」が開催されました

駐車スペースの拡張や敷地内のバリアフリー化のほか、多目的ホール、陶芸などができる工作室等を備え、誰もが利用しやすい施設となりました。オープニングイベントでは、とらひめ認定こども園の園児らが市長、市議会議員らとくす球を割り、新たな門出を祝いました。



6月2日(日)

先人の偉業を学び、讃える

高月町西野で「西野水道まつり」が開催されました。

今から174年前、氾濫を繰り返す余呉川の水を琵琶湖に流して洪水を防ごうと、充滿寺の住職であった恵莊上人が、村人たちを率いて5年がかりで西野水道を完成させました。

古保利小学校の児童が当時の西野水道ができた経緯を描いた「水道劇」を披露。参加した町内の人たちが先人の偉業に思いを馳せていました。



6月8日(土)

武将たちが街中を大パレード

中心市街地一帯で今年で6回目となる近世城下町まつりが開催されました。

武将に扮した人たちが長濱八幡宮から長浜城までを勝どきを上げながら行進し、観客はその勇ましい姿に歓声をあげました。

会場には、様々な模擬店が立ち並んだほか、声の観光大使である山口勝平さんらによるアテレコライブが行われ、会場は大いに盛り上がりました。



6月16日(日)

鉄打つ音がよみがえる一日

鍛冶屋町一帯で「とんてんかんin鍛冶屋」が行われました。

このイベントはかつての鍛冶のまちの賑わいを再現しようと地元有志でつくる実行委員会が行っているものです。

昔ながらの鍛冶体験ができる槌打ち体験や、五寸釘から作るペーパーナイフ作り、包丁の刃とぎ、ナイフを使った竹とんぼ作りなど、鍛冶屋町ならではの催しが行われ、多くの家族連れが鍛冶の町を堪能しました。